

ふくいスマートエネルギー デバイス開発地域

フッ素化学多面展開技術を活用した次世代エネルギー
デバイス創製による地域イノベーションの取組

参画機関 (太字はプログラム実施機関)

産…福井県経済団体連合会

学…**福井大学**、福井工業大学、ほか

官…福井県、

若狭湾エネルギー研究センター、

ふくい産業支援センター

金…福井銀行、ほか

地域イノベーション戦略

新たな産業を創造するための地域構想である「福井経済新戦略」に基づき、都市エリア事業等を通してこれまでに培った次世代のエネルギーデバイス・材料関連産業の研究成果を元に、ふくい地域に集積する地域産業が連携する中での様々なイノベーション創出、実現を産学官金が一体となって目指しています。特に、世界的にもユニークなフッ素化学を多面的にデバイスや材料開発に展開することで、地域の未来を担う新しい産業創出を推進します。



プロジェクトディレクター

安田 博

略歴：平成21年福井県総合政策部課長。平成23年若狭湾エネルギー研究センター企画支援広報部長。平成26年ふくい産業支援センター、～現在。

福井県内外の産学官の力を結集して、地域のイノベーション創出のために取り組んでいきます。ふくい地域がこれまで取り組んできたエネルギー関連機能性材料の創製に関する研究成果を発展させ、地域が有する優れたものづくり企業の特性を活かして、人、プロジェクトを育て、グローバル市場へのエネルギーデバイス基幹部材の供給拠点を目指します。

事業の内容

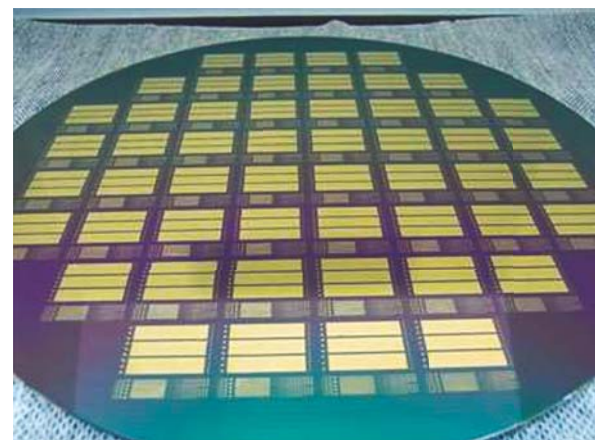
【全体計画及び成果】

【全体計画】

ナノめっき技術等地域のものづくり基盤技術を核に大学等が有する先端科学技術を融合させ、蓄電やその制御・展開デバイス、即ちグリーンイノベーションに関する材料・デバイスに関する高度化について、地域を生きた実証ステージとする取組を推進します。

【成果】

フッ素化学を利用した安心・安全大型蓄電池を実現する材料創製や次世代パワーデバイス実装技術の創出、コンパクト燃料電池作製技術、アグリ等幅広い分野での光・熱の有効利用技術の創出等の研究課題に取り組み、高効率・高信頼蓄電システムや新規半導体加工技術、LEDや地中熱も利用した農業システムとその適合品種等多くの成果を示すとともに、定着に必要な人材育成や企業ネットワーク構築を行いました。



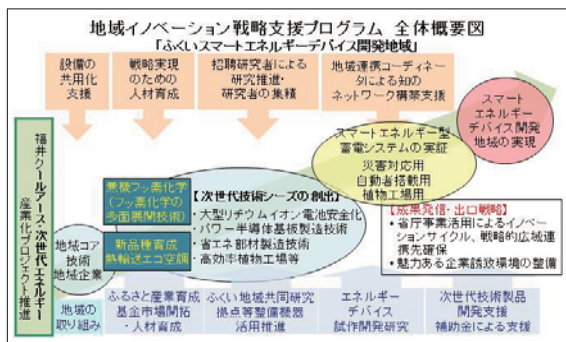
電力機器向けの半導体へのメッキによる回路の作成

【実施する支援メニュー】

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積

(実施機関：福井大学)

フッ素化学やエネルギーデバイス関連の研究者を招聘集積し、重点的に研究を推進しています。



2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施 (実施機関：福井大学)

地域の取り組みを持続的なものとする為、研究開発プロジェクトリーダー人材を養成するプログラム(企業実践塾)を開発し、実施しています。

3. 大学等の知のネットワークの構築 (実施機関：ふくい産業支援センター)

大学研究機関の技術シーズを発掘し、企業ニーズとマッチングし製品化事業化を推進しています。

4. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化 (実施機関：福井大学)

材料やデバイスの試作・評価装置を設置し技術相談、研究開発の場を提供し支援しています。